

事業計画書

平成 年 月 日

公益財団法人 大分県産業創造機構
理事長 姫野 清高 殿

住 所
企 業 名
代表者名
T E L
担当者名
印

ビジネスプラングランプリ実施事業実施要領第6条の規定に基づき、下記のとおり事業計画書を提出します。

記

1. テーマ (ネーミング)

※ 事業のテーマ名・商品 (サービス) のネーミングを記載
専門用語をあまり使わず、誰でもわかるテーマ名で50字以内

2. 事業の内容

事業の内容を下記の項目ごとに要約して記入すること。事業の内容を評価するために重要な書類であり、できるだけ詳細に図表などを用いてわかりやすく記入すること

(①～⑩の各項目毎に1頁以内)に収まるように記入してください)

① 事業の内容

商品・技術・サービス等事業の内容を分かりやすく記入すること。事業の内容がわかる概略図、解説があれば記入すること

② 事業の目的

この事業 (商品・技術・サービス等) がなぜ必要とされるのか、具体的なニーズや社会的背景を踏まえて目的を分かりやすく記入すること

③ 事業の進捗状況及び過去の支援制度利用実績

この事業（商品・技術・サービス等）の進捗がどの段階か（開発中、試作改良段階、試作による販路開拓中、量産化実現など）、及び事業が軌道に乗るまでの程度の期間を要するか記入すること。併せて、過去に国・県等から支援（補助金、表彰など）を受けた実績を記入すること

④ 新規性

類似商品、類似技術、類似サービス及び従来技術と比較して、この事業（商品・技術・サービス等）の新規性・独創性、競合商品等との差別化要素等を具体的に記入すること

⑤ 成長性

この事業（商品・技術・サービス等）の市場規模（想定する顧客層・顧客数、都市圏やグローバルへの展開の可能性など）、ニーズの高さ若しくは新市場の創出可能性をできるだけ分かりやすく記入すること

⑥ マーケティング

この事業（商品・技術・サービス等）を実施するに当たってのマーケティング方法（販売ターゲット（顧客）、販売価格、販売方法、販売促進方法、PR方法等）をできるだけ具体的に記入すること

⑦ 実現性

商品・技術・サービス等の生産（提供）方法を記入すること。また、経営的、技術的な課題や制約がある場合は、その解決方法を記入すること

⑧ 社会性

この事業（商品・技術・サービス等）が提供されることにより、地域経済への波及効果や地域社会への貢献がある場合は、具体的に記入すること

⑨ 知的財産権

事業計画に関する知的財産権（特許、実用新案、意匠、商標等）の取得状況について、名称や特許（出願）番号等を記入すること（知的財産権の名称、番号、内容を具体的に確認できる資料を必ず添付すること）

特許の場合は、公開特許公報又は特許公報等（【明細書】【発明の名称】【要約】【特許の範囲】【代表図面】）を添付すること

知的財産権の概要、また知的財産戦略について記入すること

発明の名称	出願番号	公開番号	特許番号
* 知的財産権の概要			
* 知的財産戦略			

⑩ その他

特にアピールしたいことがあれば記入すること

--

⑪ 過去の応募歴

これまでに大分県ビジネスプラングランプリに応募したことがあれば、記入すること。

申込年月	応募されたテーマ	今回申請のプランとの違い
平成 年 月		
平成 年 月		
平成 年 月		